

OAアシスト機能でつかまえて

The Catcher in TGU

2024.11.7

図書館総合展2024 JAIRO Cloudでオープンアクセスを実践しよう！

東京学芸大学総務部学術情報課アーカイブ室アーカイブ係

南雲 修司

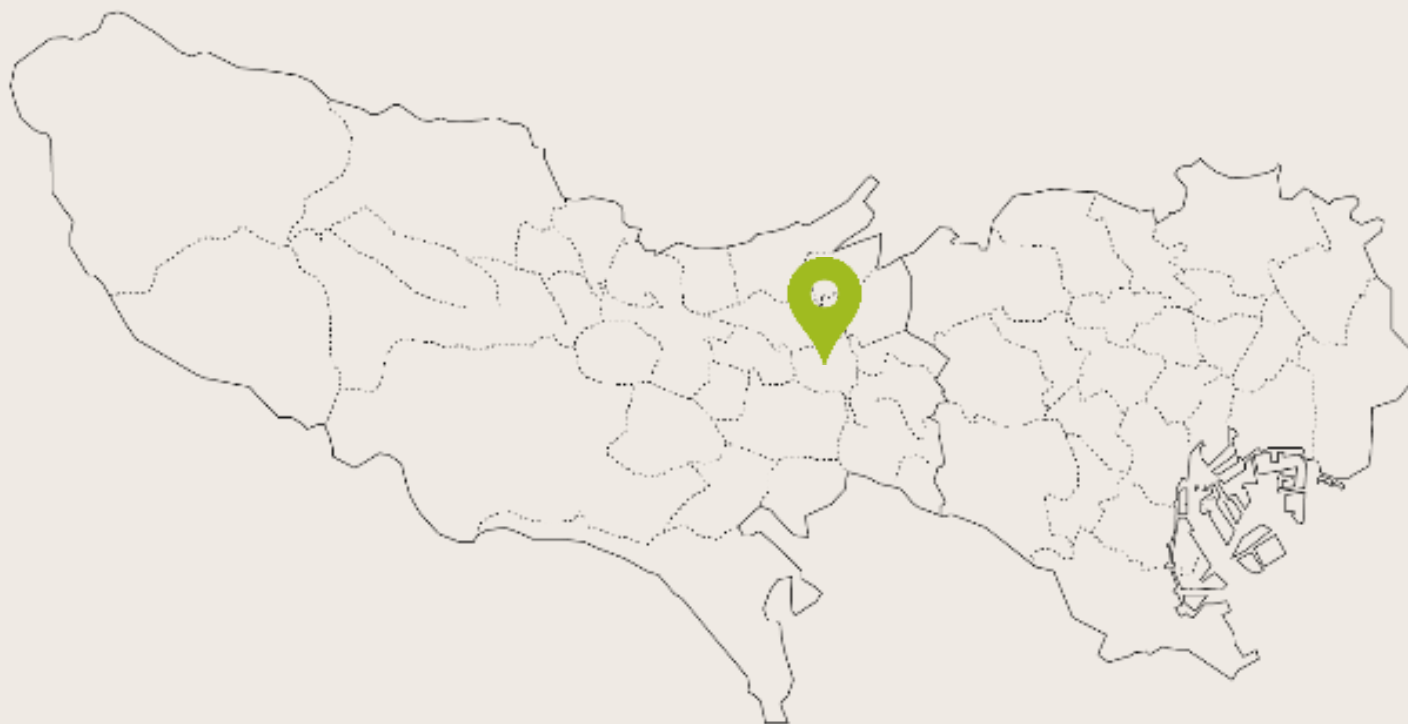
本日の内容

1. 東京学芸大学の紹介
2. OAアシスト機能の活用案
3. OAアシスト機能でシミュレーション

東京学芸大学の紹介

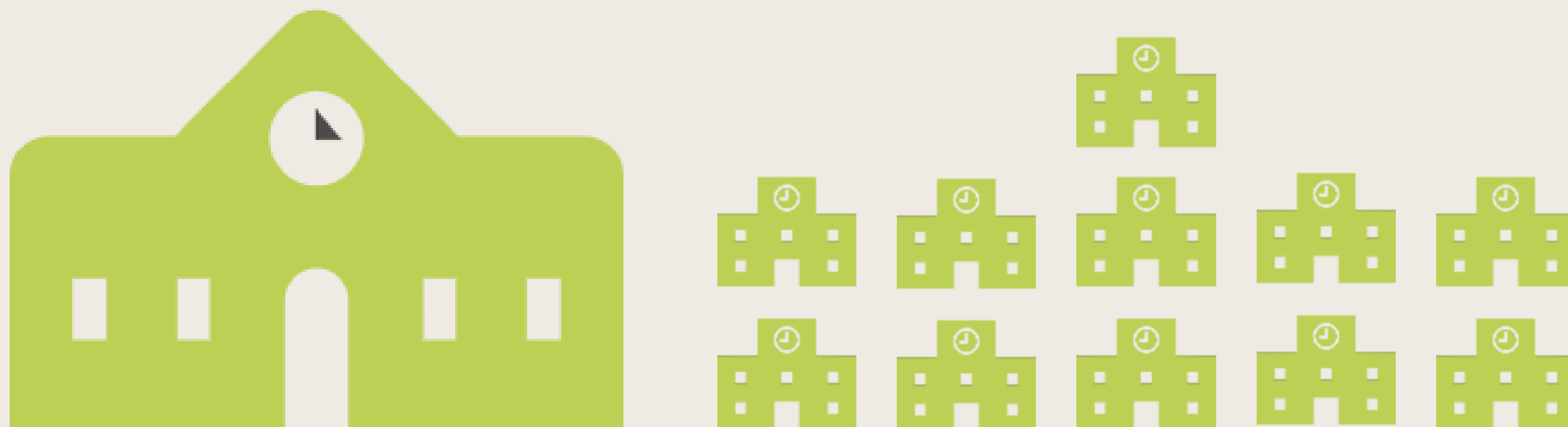
1. 東京学芸大学の紹介
2. OAアシスト機能の活用案
3. OAアシスト機能でシミュレーション

東京都小金井市にあります



東急東横線「学芸大学駅」ではありません

教育系の国立大学です



11の附属学校園をもっています

学生・教員数



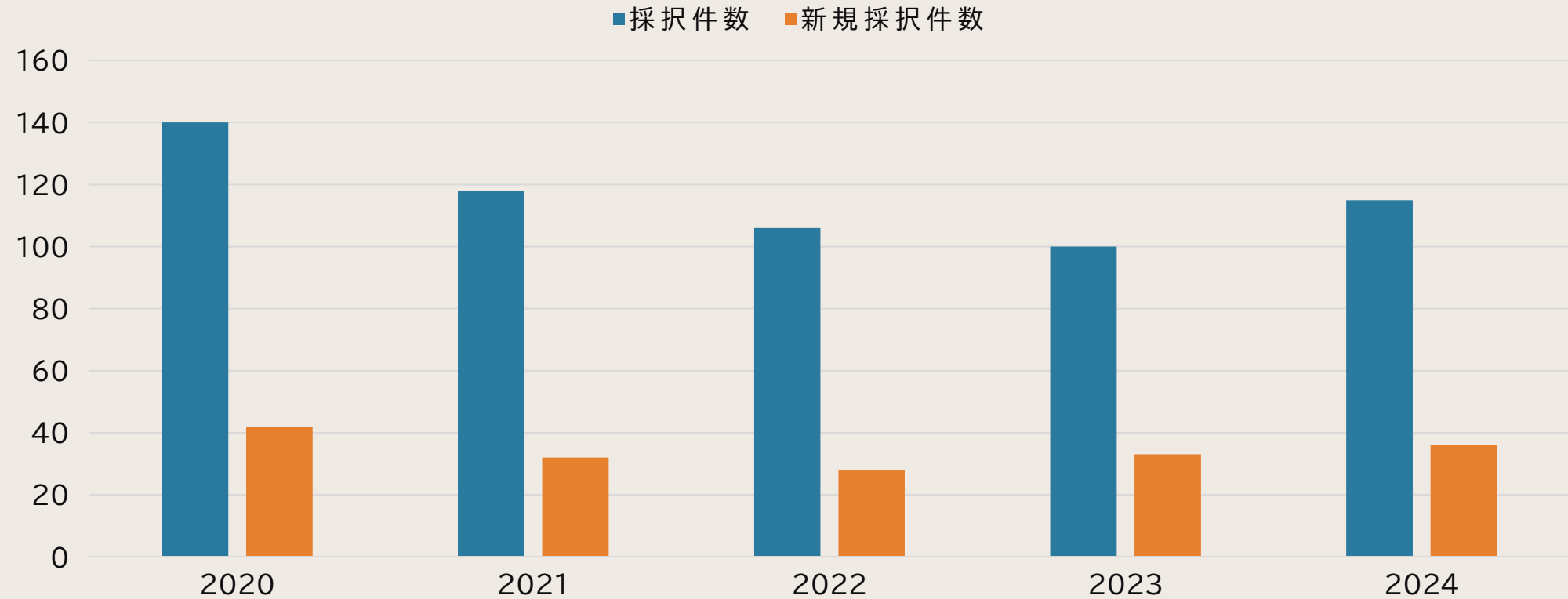
Students: 5,000



Teachers: 600

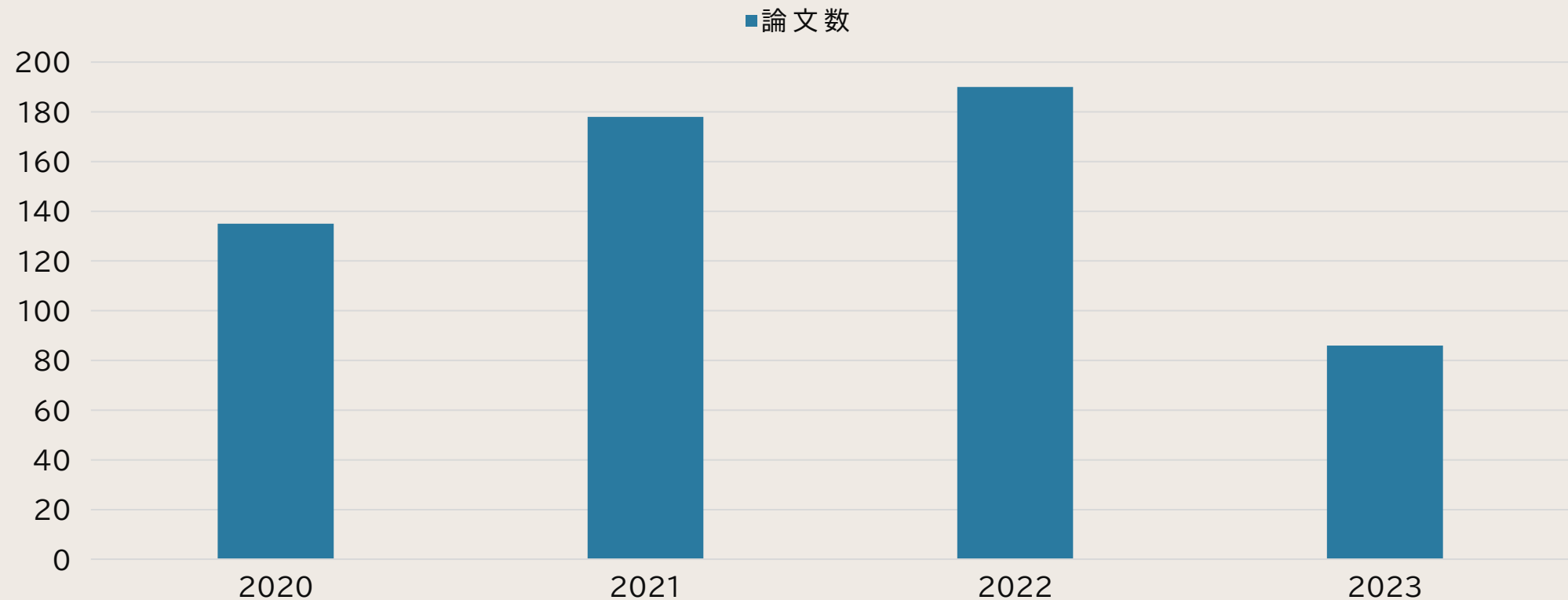
Teachers = 大学教員(278) + 附属学校教員(340)

科研費採択数



年間約100～150件の採択件数

KAKENの論文数



年間約100～200件の科研費による論文

OAアシスト機能の活用案

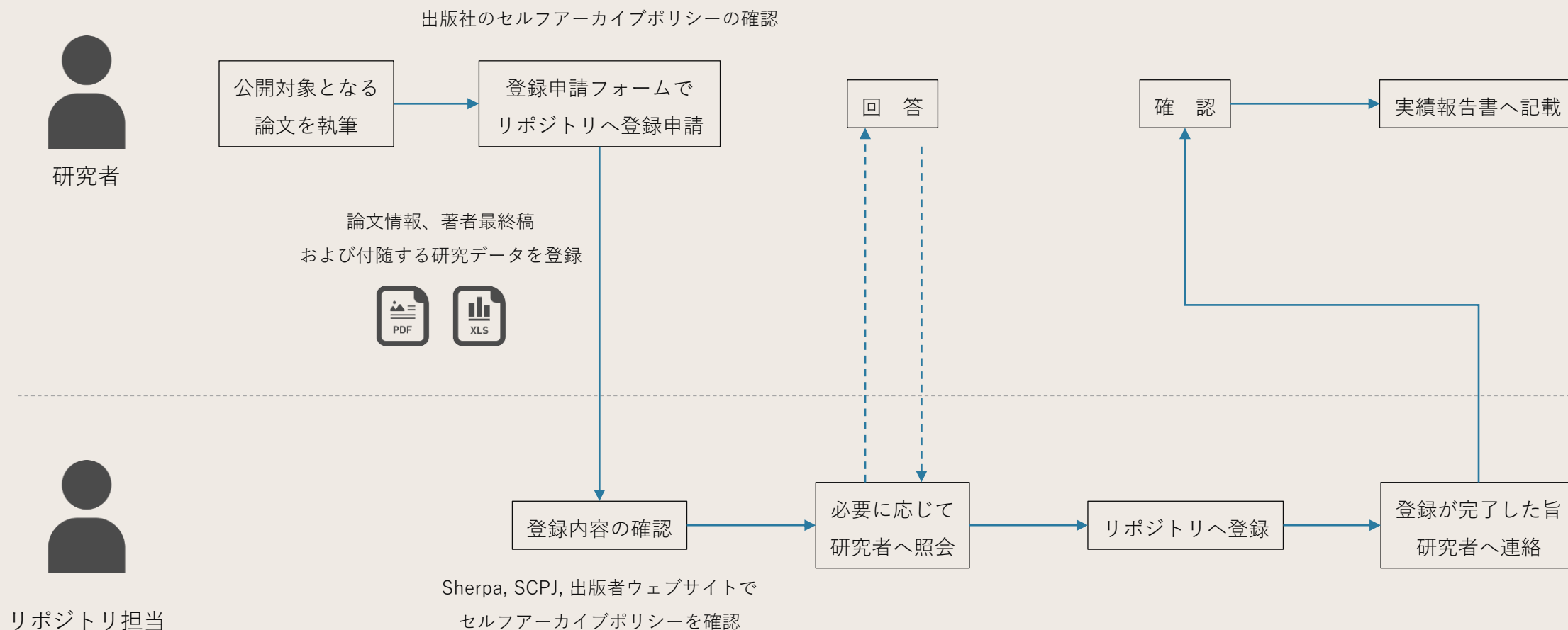
1. 東京学芸大学の紹介
2. OAアシスト機能の活用案
3. OAアシスト機能でシミュレーション

東京学芸大学の即時OAへの対応体制

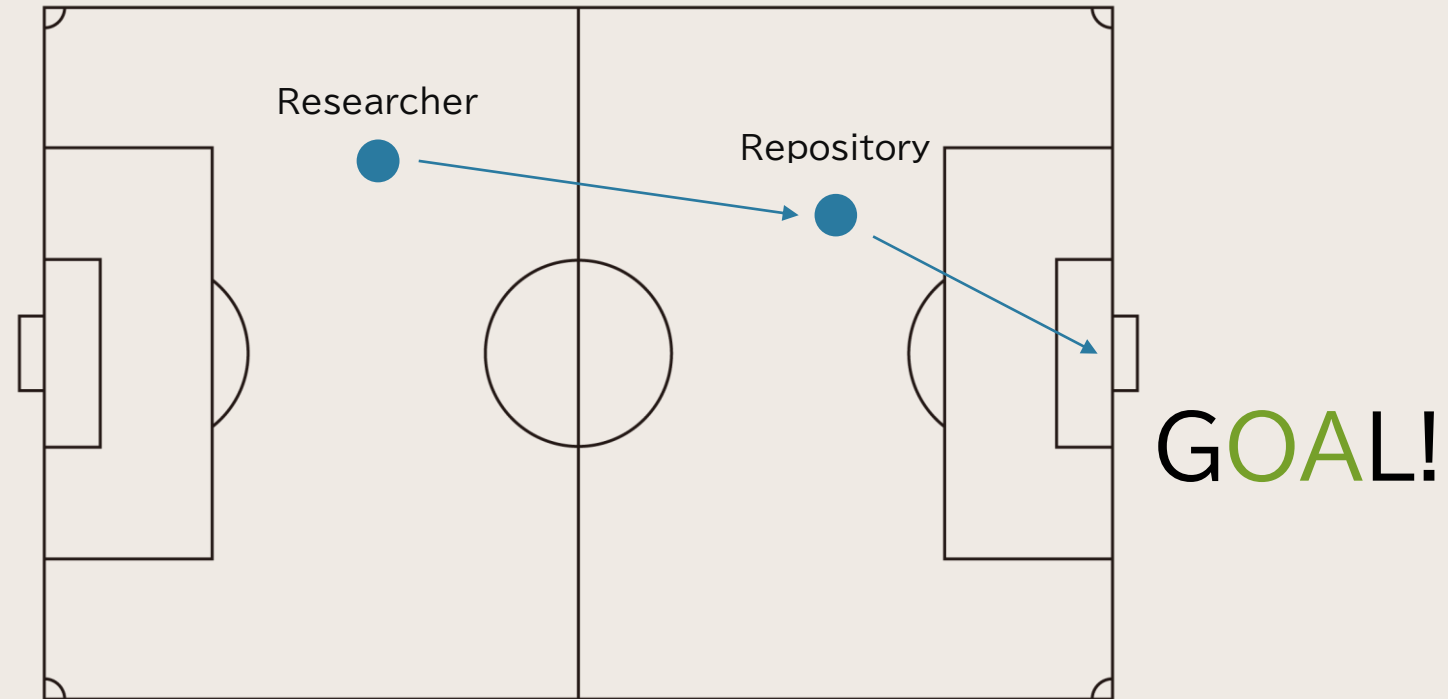
公的資金による研究データの管理・利活用に関するWG
メンバー

- 研究担当副学長
- 各学系から選出の教員
- 学術情報会議(附属図書館長)
- 研究・連携推進課
- 学術情報課

即時OAへの対応フロー案

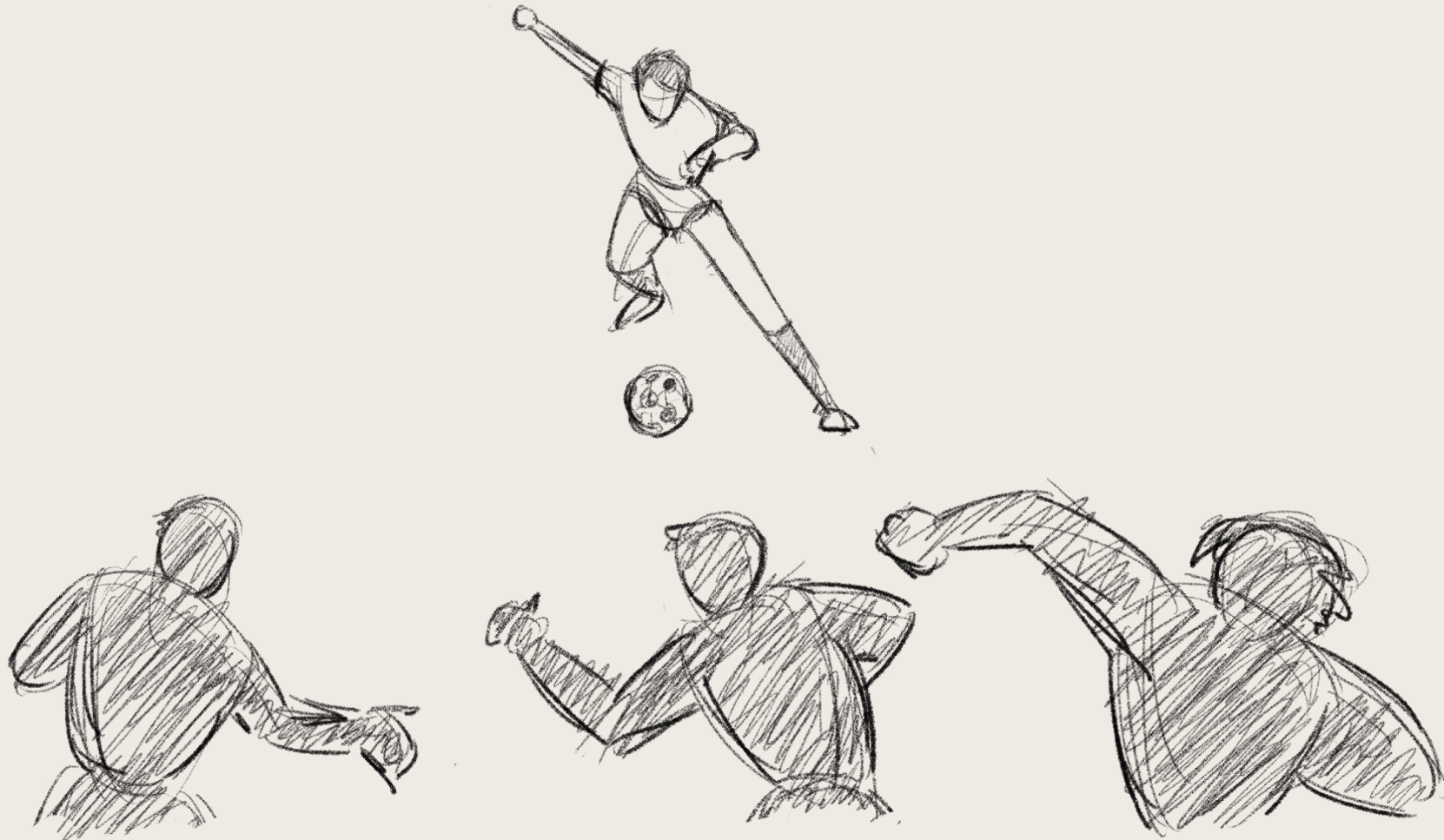


想定している理想的な流れ



研究者→リポジトリ担当→OAという流れが理想

でも先生方は忙しい...

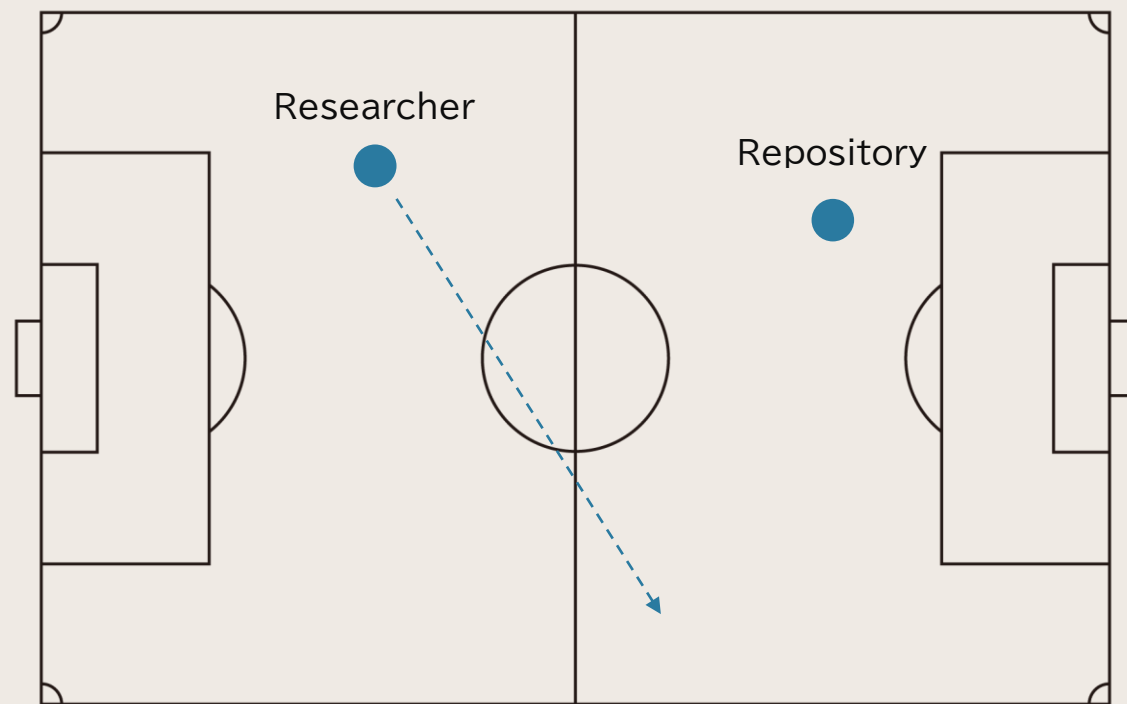


他の研究

会議

学生指導

でも先生方はお忙しい…



OAにするための手続きに手が回らず、こぼれてしまうことも…

こぼれた論文をキャッチ！



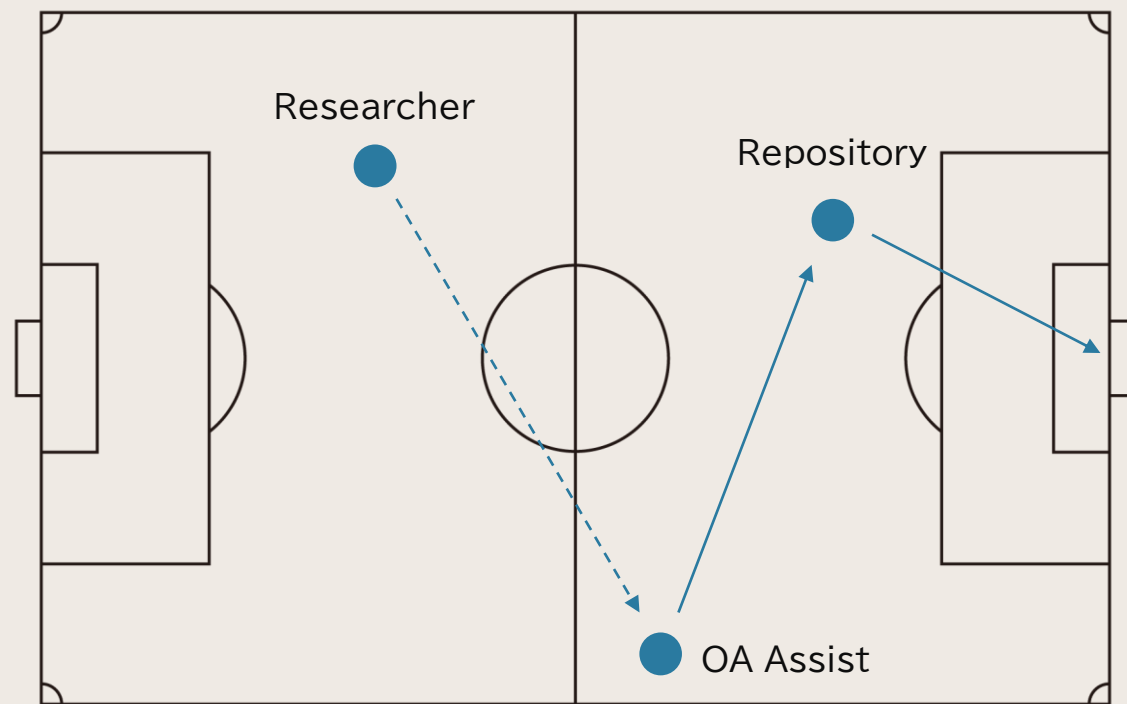
OAアシスト機能

こぼれた論文をキャッチ！



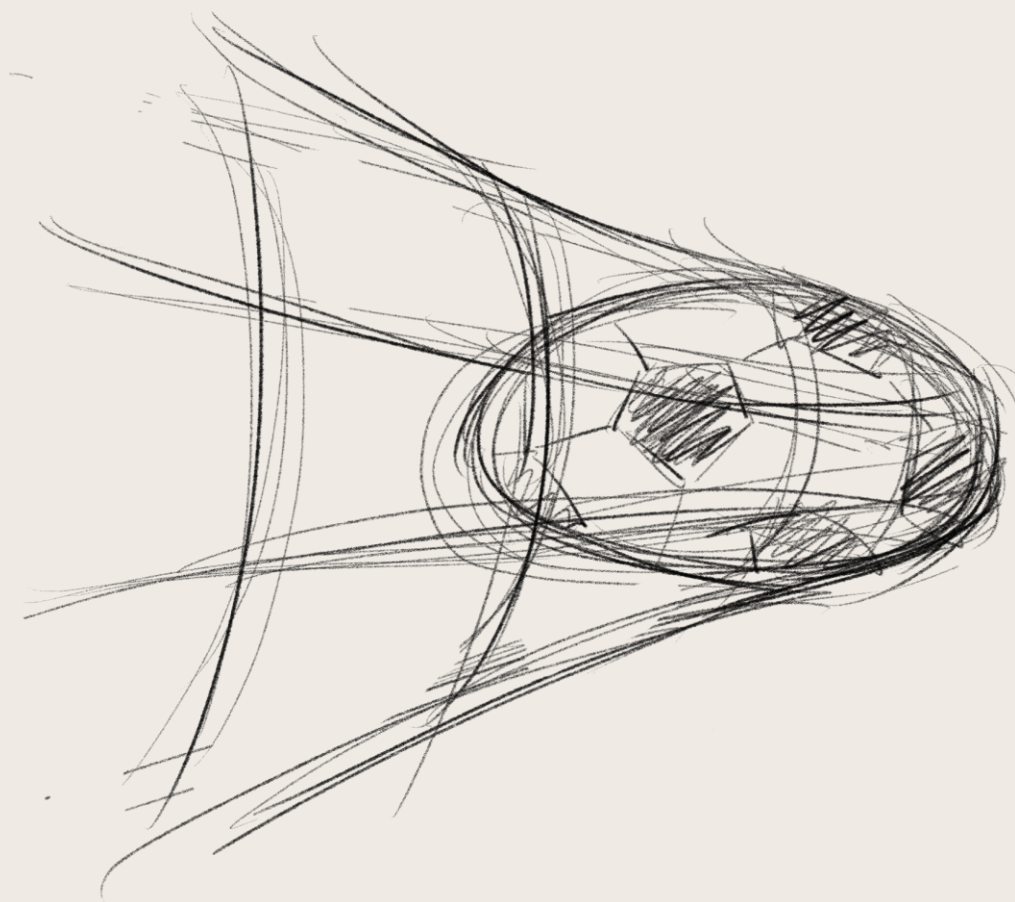
OAアシスト機能

OAアシストでアシスト!!



非OAになりそうな論文をOAアシスト機能でキャッチ！

OAアシストでアシスト!!



GOAL!

OAアシスト機能の活用案

OAアシスト for JAIRO Cloud ダッシュボード 論文

送信 (32) ダウンロード (32)

検索

1 2 3 4 5 ... 328 329 »

★	論文情報	非OA	助成	筆頭著者	公開日	ポリシー	ステータス/メモ
★	Qualitative Research on Science Lessons Based on the "Assessment Triangle": Analyzing the Fourth-Grade Unit on the "Change in Volume of Air with Change in Temperature" Masafumi, WATANABE / Sachiko, SUGINO Journal of Research in Science Education, Vol.65, No.1, pp.211-227 (2024/07/31) Lens / DOI / JAIRO Cloud	—	—	✓	2024/08/01	Sherpa Romeo 検索: 2187509x —	未処理
★	Points to Attention to Pass the Review for Getting Acceptance Answer: Part 3 Ichoro, WADA / Shingo, UCHINOKURA / Rinnya, ONOSE / Hiroyoshi, KINOSHITA / Tomokazu, YAMAMOTO, and 4 authors Journal of Research in Science Education, Vol.65, No.1, pp.241-245 (2024/07/31) Lens / DOI / JAIRO Cloud	—	—	—	2024/08/01	Sherpa Romeo 検索: 2187509x —	登録不可(その他...) 論文ではない
★	Stable carbon and oxygen isotope signatures of mantle-derived calcite in Aitutaki lherzolite xenolith: Implications for organic carbon cycle in the oceanic mantle Norikatsu, Akizawa / Toyoho, Ishimura / Masako, Yoshikawa / Tetsu, Kogiso / Akira, Ishikawa, and 1 authors Marine Geology, Vol.475, pp.107363-107363	—	✓	✓	2024/07/31	Sherpa Romeo 検索: 18726151 —	未処理

研究者の方からの申請を基本にしながら
OAアシスト機能で定期的に漏れがないか確認

OAアシスト機能でシミュレーション

1. 東京学芸大学の紹介
2. OAアシスト機能の活用案
3. OAアシスト機能でシミュレーション

先行利用で何を試すか

本学のリポジトリはこれまで紀要や学位論文が中心



即時OA義務化が始まったつもりで
どのくらいの作業が必要となるのか
OAアシスト機能をもとにシミュレーションしてみました

シミュレーションの内容

- 調べた対象

- 即時OAアシスト機能にあがってきた論文（2024.10.10時点）
- 出版年月日：2023年1月～12月

▶ 200件*

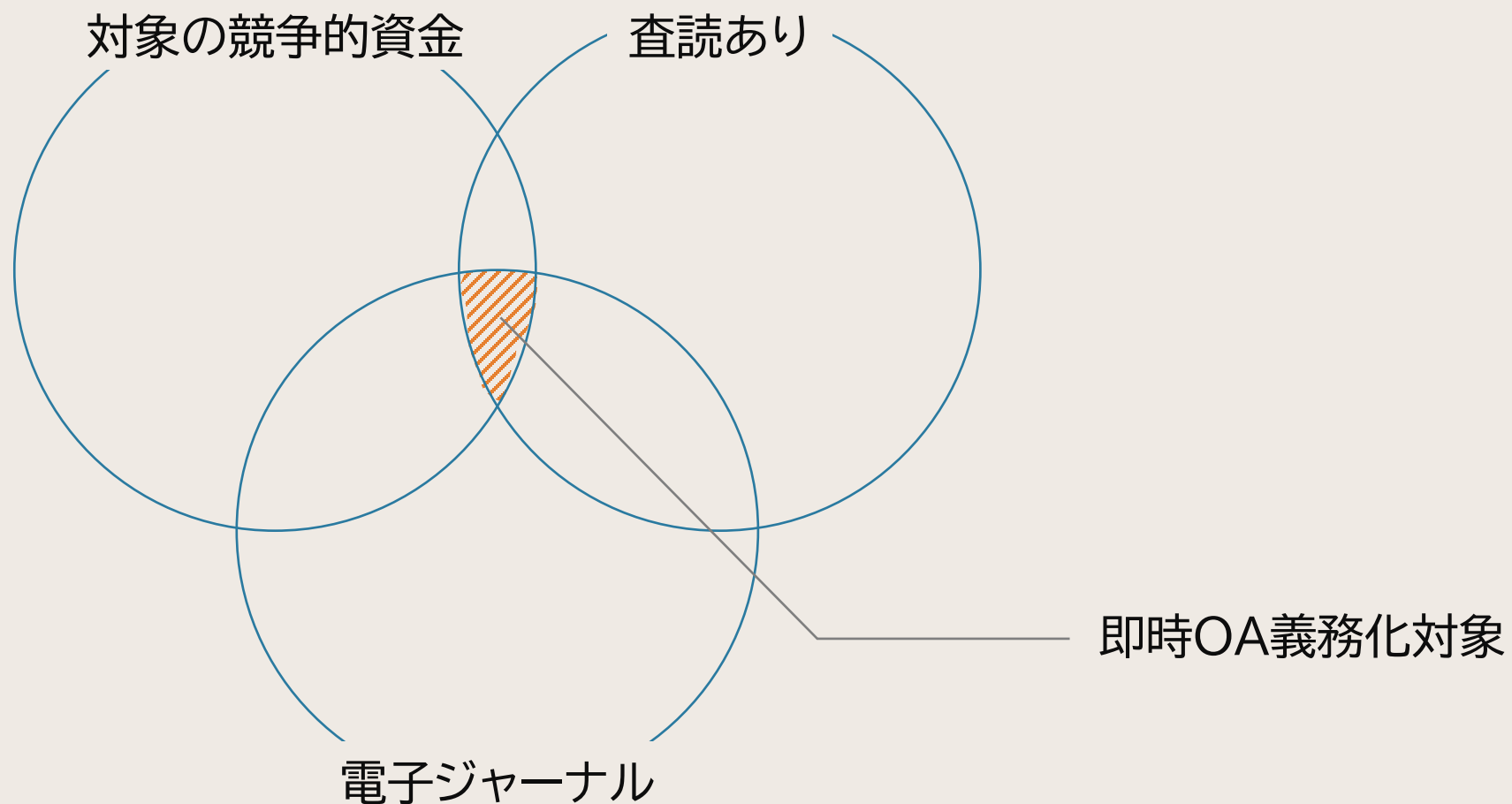
- 調査内容

- どのくらいの論文が即時OAの対象となるのか
- その論文はリポジトリに登録できるのか

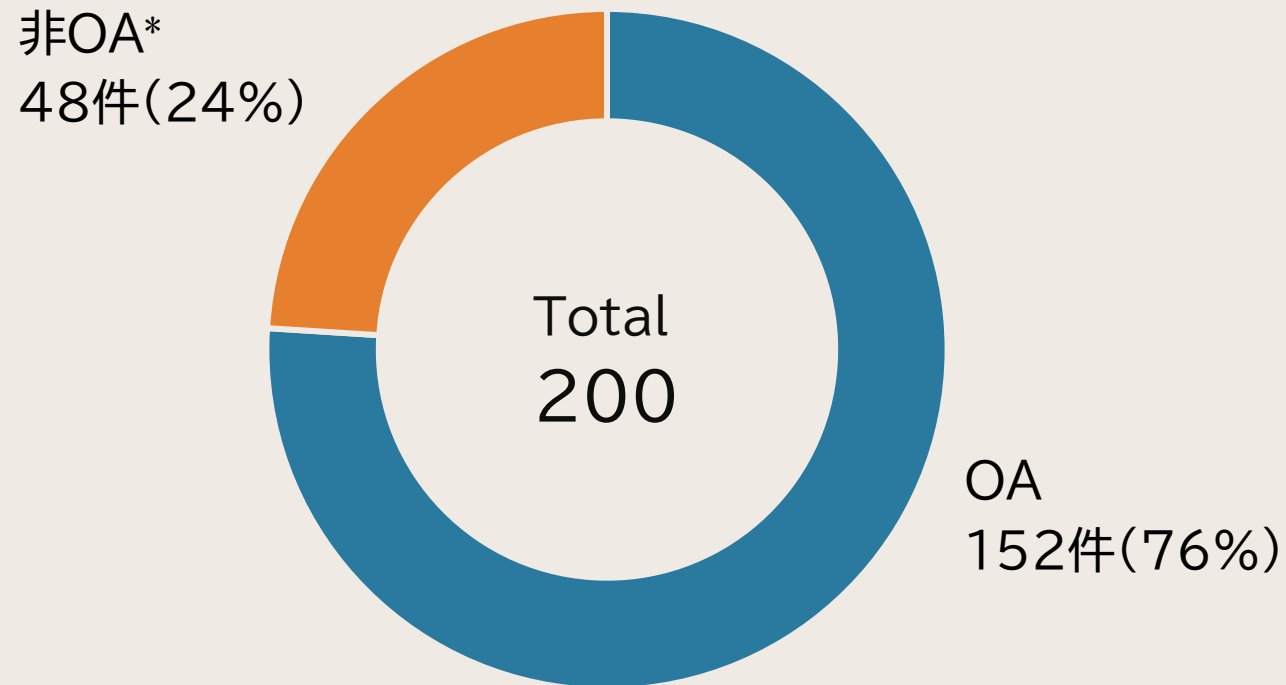
- 調査方法

- 実際に電子ジャーナルのページにアクセスして確認

即時OA義務化の対象

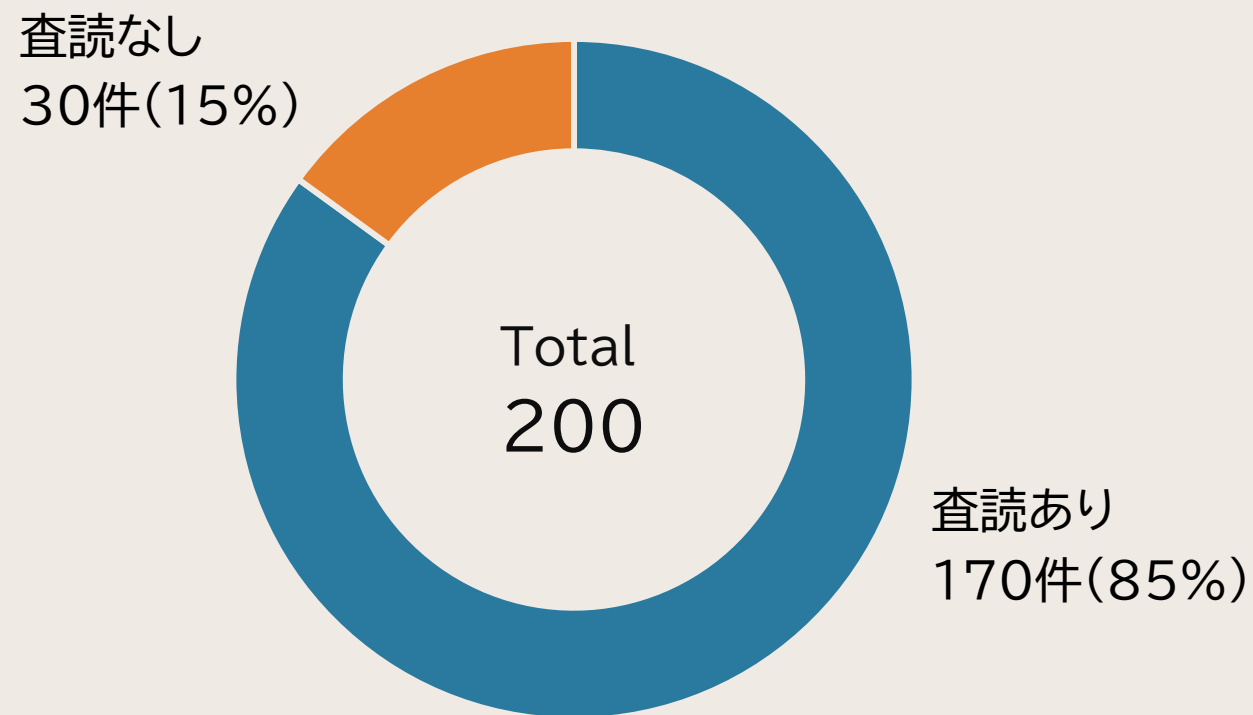


OAかどうか



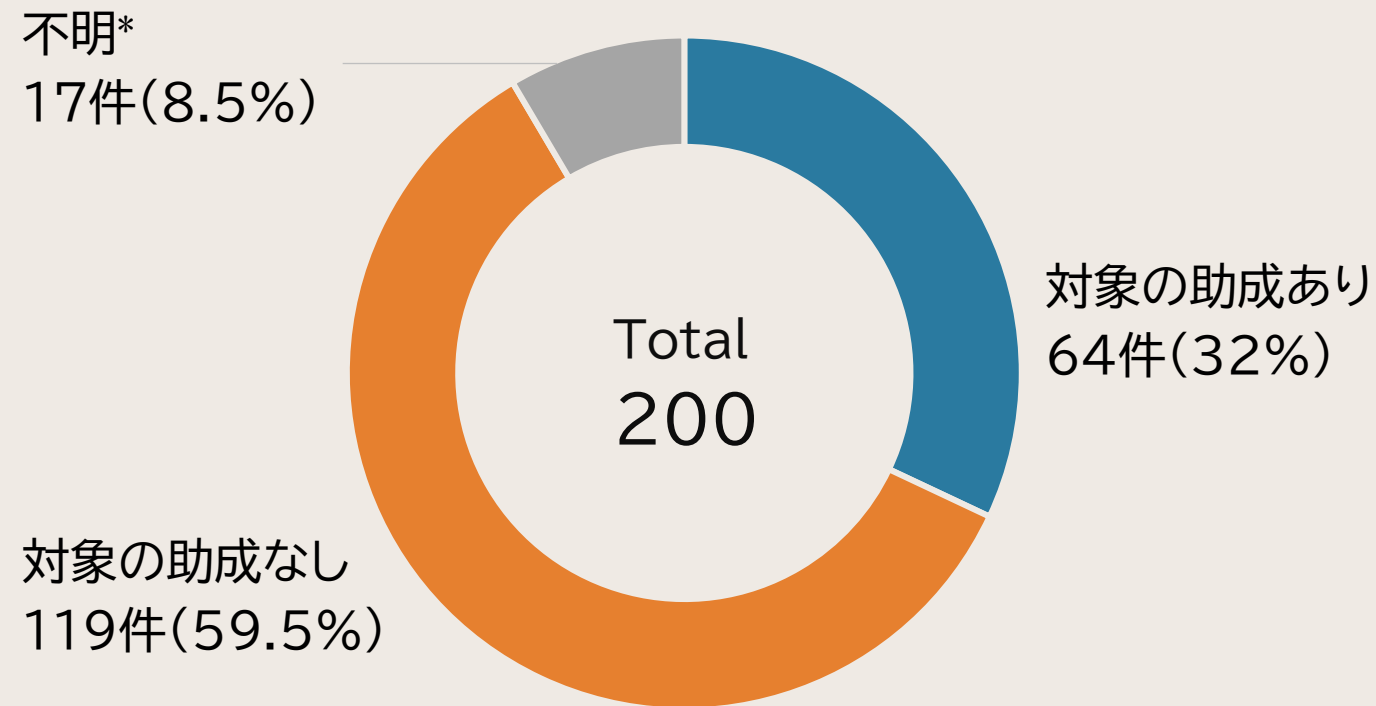
多くの論文が何らかの形でOAとなっている

査読誌かどうか



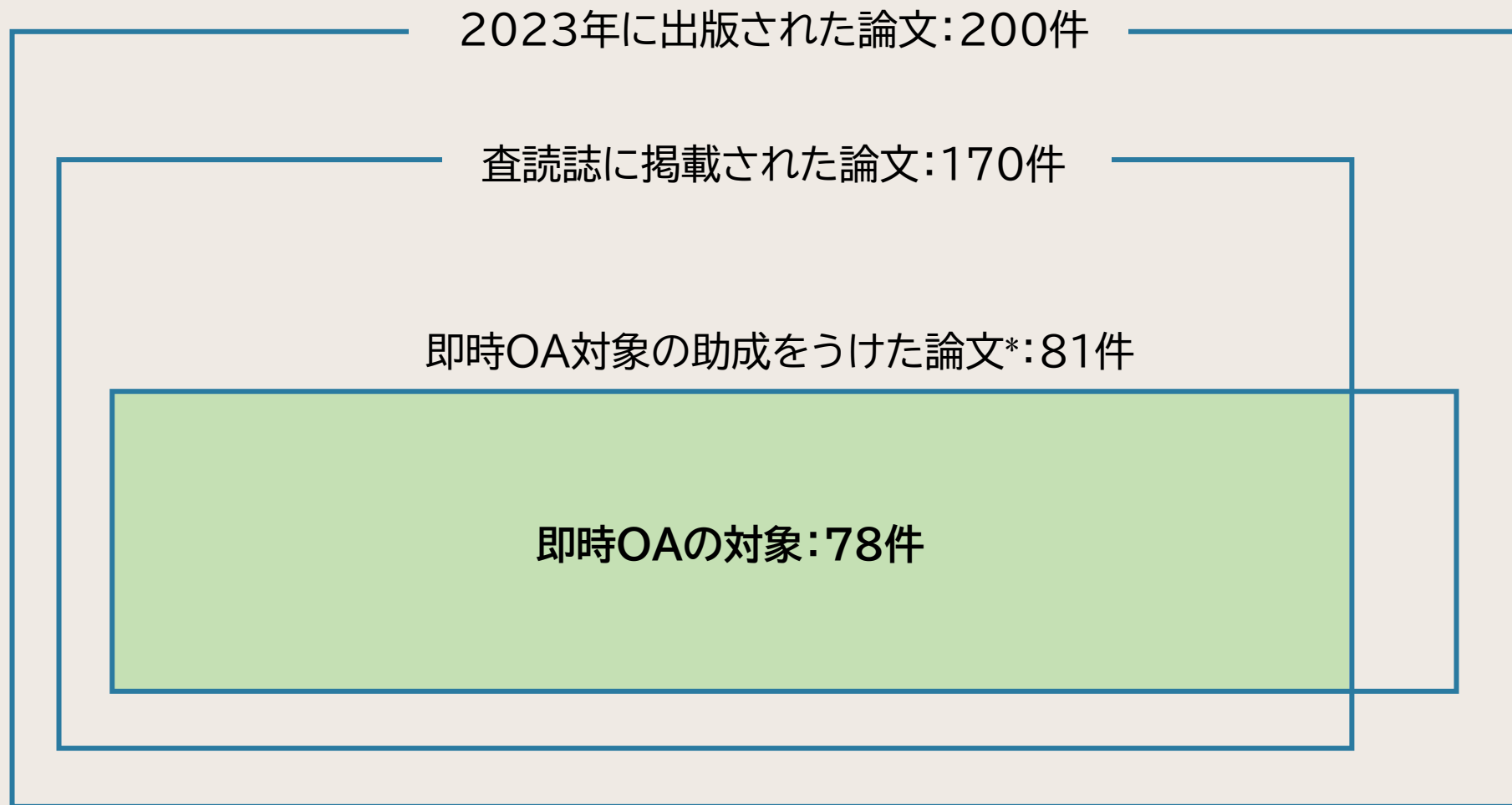
ほとんどの論文が査読誌に掲載されている
(Lens, Jstageに採録されるような雑誌は査読誌が多い?)

即時OA対象の競争的資金の助成

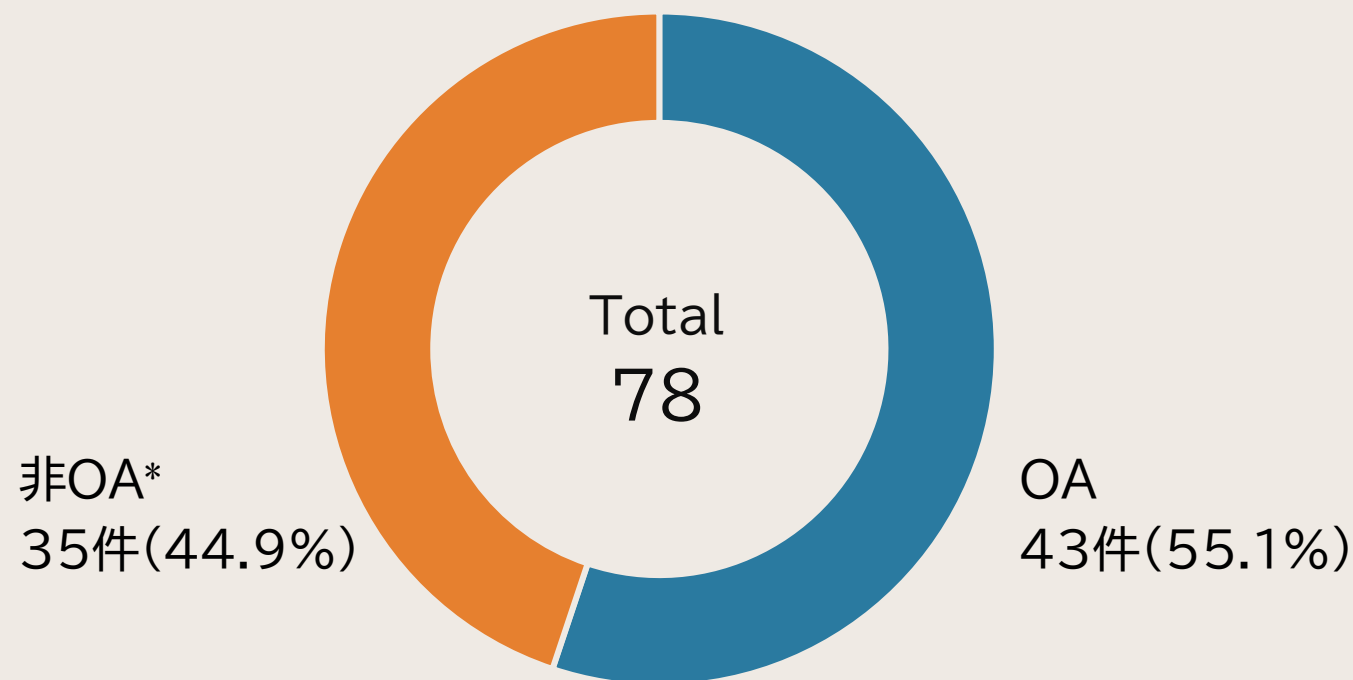


助成を受けていない論文が多い

ここまでのまとめ

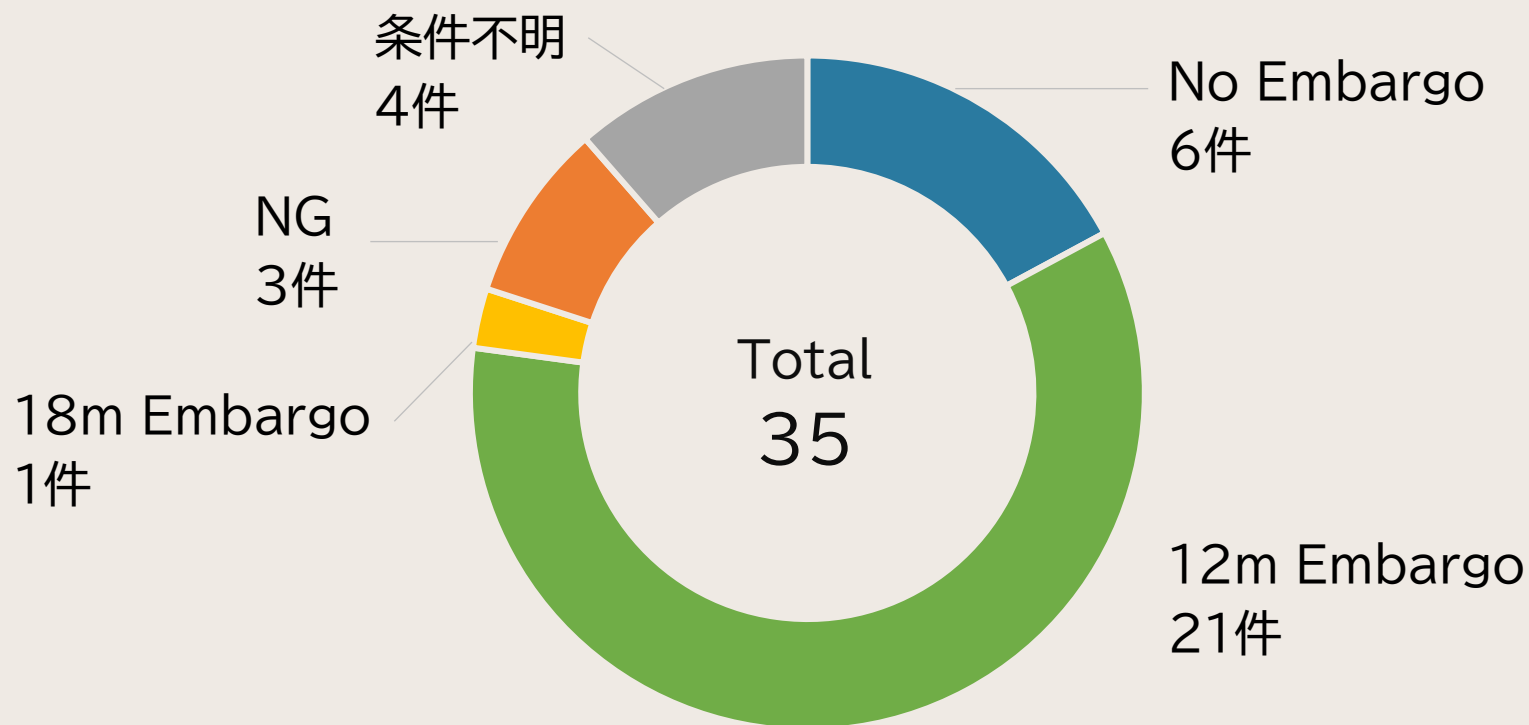


即時OA対象論文のOA状況



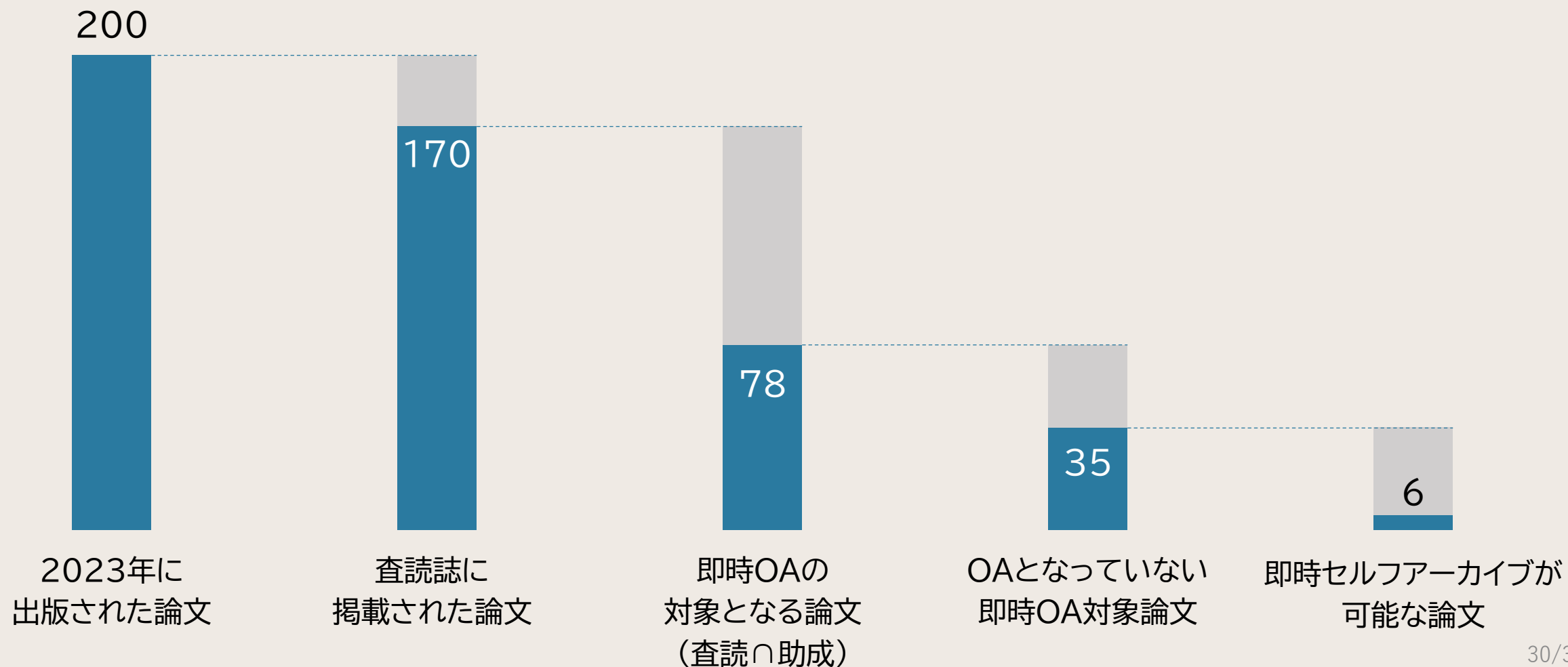
即時OA対象の論文も半数以上OAとなっている

非OA論文のセルフアーカイブポリシー

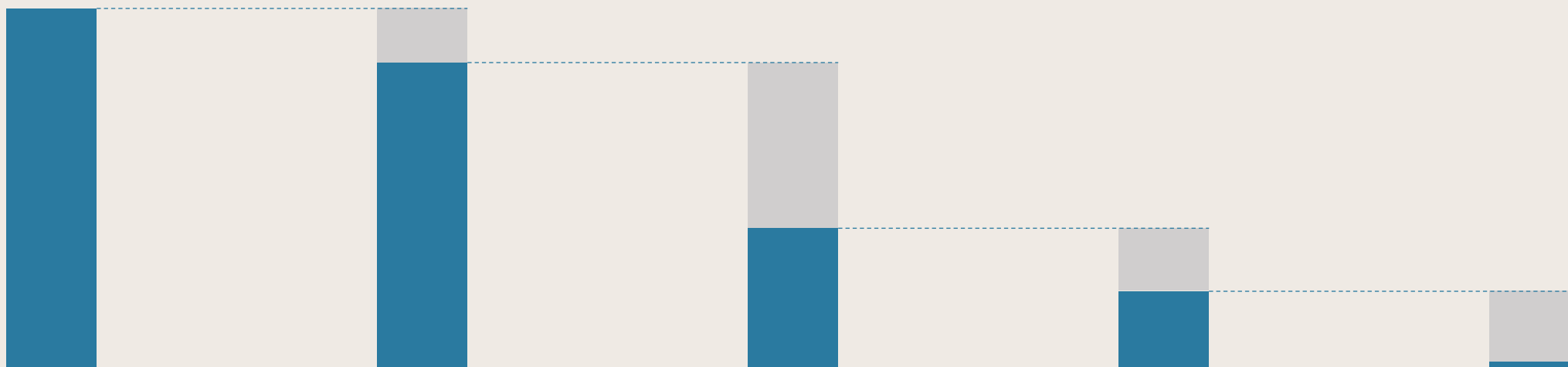


多くの雑誌でエンバーゴが課せられている

シミュレーションのまとめ



感想

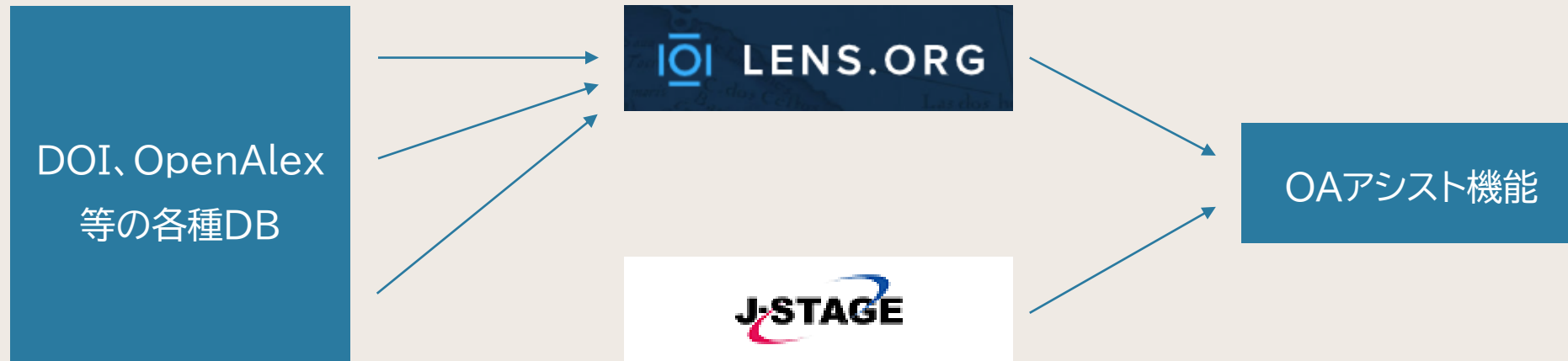


「即時OA義務化」への対応と考えると対象の論文は決して多くない



「即時」「義務化対象」ということにこだわり過ぎない対応

感想



OAアシスト機能の情報と実際が異なっている場合が少なくない



データソース側で情報を充実してほしい(特に助成情報)

さいごに

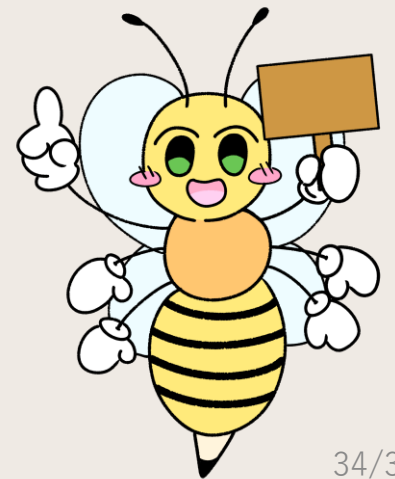
さいごに

即時OAアシスト機能について

- OAアシスト機能は論文の把握に役立ちそう
(特に和と洋が同じツールで管理できるのがありがたい)

シミュレーションの結果について

- 義務化前に規模感をつかめると
対応も検討しやすくなるかと思います



ご清聴ありがとうございました

JAIRO Cloudでオープンアクセスを実践しましょう！

